

Compass

www.nikkenkyo.com

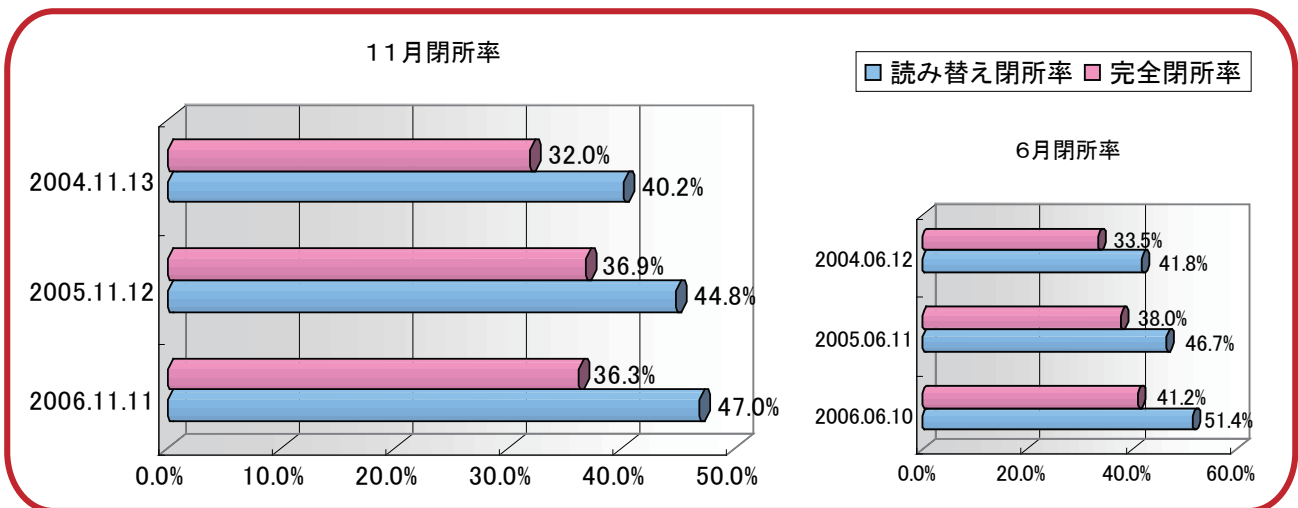
過去最高！「閉所率47%」



—2006年11月11日統一土曜閉所運動結果報告—

『あきらめない。早めの準備と計画で、必ず休むぞ「統一土曜閉所」』のキャッチフレーズで取り組んできた、11月11日統一土曜閉所運動の集計結果をお知らせします。完全閉所率は昨年11月と同水準となりました。

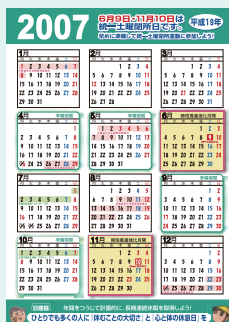
また、閉所が厳しい作業所でも事前の計画段階での読み替えによる対応が進んだ結果、読み替え閉所率は11月の取り組みとしては過去最高の47.0%となりました。6月に比べ11月が低くなる傾向は変わっておりません。今回もみなさんの「早めの準備」が実を結び好結果となりました。



<集計結果>

総作業所数	9,325	作業所		
当日閉所作業所数	3,382	作業所	当日閉所率	36.3 %
閉所作業所数	4,379	作業所	読み替え閉所率	47.0 %

次回2007年6月9日はひとつの区切りとなる第10回目の取り組みとなります。一人でも多くの方が統一土曜閉所運動をつうじて「心と体の休息日」を取得できるよう6月の閉所へ向けた準備を始めましょう。



日建協では今年も統一土曜閉所運動年間カレンダーを作成しました。皆様の作業所でも掲示していただけますでしょうか。今回の特徴は

- ①年間をつうじて統一土曜閉所日を意識できるよう、6月と11月の実施日を強調。
- ②計画的な長期連続休暇取得のため、年末年始・夏季・GW付近を、日建協休日休暇取得推進日として強調。

なお、このカレンダーは各作業所だけでなく、厚生労働省、国土交通省などの行政機関、業界団体、大学などへも配布し、統一土曜閉所運動への協力要請にも使用しています。



いよいよ10回目をむかえます!



◇統一土曜閉所運動◇

キャッチフレーズ大募集!



日建協では時短推進活動の一環として、6月と11月に統一土曜閉所運動に取り組んでいます。節目の10回目を数える今回も、組合員のみなさんから時短推進強化月間ポスターのキャッチフレーズを募集します。多数のご応募をお待ちしております。

〆切 2月23日(金)

募集要項

- [内 容] 時短推進強化月間のポスター用キャッチフレーズ
- [募集期間] 2007年2月23日(金)まで
- [応募方法] メール、FAX、はがきのいずれも可(未発表の作品に限る)
 - ・E-mail: XBL08009@nifty.com (日建協 組織局 工藤)
 - ・FAX: 03-5285-3879
 - ・〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-31-16 守山ビル3階 日建協「時短推進強化月間キャッチフレーズ」係
- 住所(郵便番号含む)、氏名、加盟組合名(社名)の記載をお願いします。
※入賞作品の著作権は日建協に帰属
- [応募資格] 日建協加盟組合の組合員及びその家族
- [テマ] 「統一土曜閉所」・「早めの準備」・「全力で取り組む」
- [審査] (1次選考) 日建協本部執行委員会にて10作品を選考
(最終選考) 日建協加盟組合の委員長、書記長による全員投票
- [入賞者の表彰] 優秀賞(1点) 2万円相当の商品券を贈呈
佳作(3点) 5千円相当の商品券を贈呈
- [入賞者の発表] COMPASS 6月号誌上を予定(日建協HPにも掲載予定)

※ 応募に際しての個人情報は、入賞者への賞品発送以外には使用しません。

注目! 労働時間法制見直しの最新動向



コンパス 11月号「労働時間法制の見直してなに?」にて、厚生労働省の審議会の状況の一部をお伝えしましたが、昨年の12月にその審議会が「最終報告」をまとめました。報告書では、議論の中心となっていた労働時間規制の適用除外制度(日本版ホワイトカラー・エグゼンプション)が報告されています。2007年通常国会への労働基準法改正案提出は見送られそうですが、日建協では、今後もこの動きに注目していきます。

●一定の条件を満たすホワイトカラー労働者の残業時間がなくなる制度

報告書では「自由度の高い働き方にふさわしい制度の創設」として、「労働時間では成果を適切に評価できない業務に従事するもの」「年収が相当程度高いもの」を対象とすることや、対象者に対しては、4週4日以上かつ一年を通じて週休2日分(104日)の休日の確保が必要なことなどが報告されています。

報告書の内容は以下のアドレスでご覧いただけます。→<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2006/12/h1227-4.html>